

◎雨水排水施設の経費

施設整備事業

下水道課・河川課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 雨水排水整備による浸水被害の防御のため。

効果 浸水被害等の解消を図る。

【事業の内容】

(1) 施設整備事業

- ・浸水被害解消に向け公共下水道の雨水管渠の整備を行った。
- ・下水道法第23条(公共下水道台帳の作成・保管・閲覧の義務付け)に基づき、下水道台帳の調製を行い市民等への情報提供を行った。
- ・浸水被害解消のため、坂本町低地排水施設を整備した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

雨水管渠の整備(5-6-1-④)

浸水・低地排水への対策(坂本町)(5-6-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
246,100	168,972	153,951		15,021
主な支出内訳				
・施設整備事業				
雨水管渠建設に伴う県道自費復旧事務費手数料				56
雨水管渠建設に伴う家屋損害状況調査業務委託料				0
雨水台帳調製委託料				1,696
雨水管渠築造工事請負費				140,356
地下埋設物移設等補償金				11,843
主な特定財源				
・国県支出金				
				31,169
・地方債				
				108,152



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 関連部署と、競合する工事箇所について調整する必要が生じた。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 関連部署と調整した結果、競合する工事箇所について合築工事で施工し、コスト縮減及び工期の短縮に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 雨水排水整備で、管渠等の計画断面を確保するにあたっては、鎌倉市域の特性として、雨水管を埋設する道路幅員が狭小で、また既に水道管やガス管などが埋設されており、断面の大きな雨水管を埋設するためには、移設補償費の増大や工事の困難性を伴う。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 浸水地域を対象に策定した「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」に基づき効率的な雨水整備を進める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	近年の都市型水害からの被害を軽減させるために「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」に基づき、雨水排水整備を積極的に進める。				
担当課長氏名:		河川課長 稲葉博行			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	「鎌倉市下水道総合浸水対策計画」に基づき、浸水被害の解消・軽減に向け取り組む。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 下水道法第23条(公共下水道台帳)の規定により、公共下水道管理者は、その管理する公共下水道の台帳を調製し、これを保管しなければならない、新たな雨水施設の整備、開発等による寄付行為に伴う経年ごとの台帳の調製が必要となる。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 雨水施設の、位置、形状、内法寸法、勾配、深さ、延長、流れの方向、人孔や樹の位置、種類、吐口の位置並びに放流先の名称、高水位、低水位等について表示し、下水道施設の維持管理に係る基礎資料とすると共に、下水道法に基づく閲覧に供した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 新たな雨水施設の整備、開発等による寄付行為に伴い、経年ごとに台帳の調製更新を行っているが、変更事項が生じた時点毎の更新が望まれる。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 変更事項が生じた時点で、速やかに台帳の調製更新ができる体制の検討を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	下水道台帳の調製更新は、速やかに対応できるシステム構築が必要である。				
担当課長氏名:		下水道課長 大坪 隆			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	下水道施設の計画的、効率的管理を行う必要から、新たな下水道台帳システムの導入に向けた検討する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		